

## 飛び歩記



立花俊治

4月に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されてから、三密を避けて蔓延防止に協力しようという街頭での集会を中止していましたが、2カ月ぶりに反原発集会が6月11日に開催されて参加しました。

## 反原発集会の再開

休んでいたこの2カ月の間に、もコロナ騒動に紛れて、原子力規制委員会が5月13日に六ヶ所村再処理工場の新基準適合を了承しました。  
脱原発は、やはりアクションと加印革新懇共催で百回目、延べ約二千人が参加して声をあげ続けています。  
19日には憲法改悪を許さない総がかり行動も再開されます。  
是非ご参加ください。



6月議会で一般質問をする立花議員

立花市議は、この取り組みを歓迎しつつも、観光協会に参加しているのに知らなかったとか、ネット申請ができないなどの飲食店業界の怒りの声や飲食店だけを助けるのはどうかなどの市民の声を紹介し、市の姿勢を質しました。  
同時に、市民の声は、額の増額、他業種でもなんでも利用可能、これが市民経済活性化の切り札になるとし、制度修正を求めました。  
また、コロナ禍のもと、市の生活保護申請相談数や支援法に係る住宅確保申請件数が急激に増え、暮らしへの不安が広がっています。  
立花市議は、コロナ対策で、市

## コロナ対策 補正予算

日本共産党の立花議員は、9日の本会議で新型コロナウイルス対策と今後の市政運営について一般質問を行い、これまでに寄せられた市民の声を届け、次回補正予算に生かせるよう求めました。

## 立花議員が一般質問 6月議会

# 応援クーポン券の拡充を

が市営住宅を2戸準備したと発表したが、これでは、間に合わないとし、300戸ほどある敷金の足りない空き市の市営住宅の更なる活用を求めました。

最後に、特別定額給付金の申請ができない寝たきり状態の人などへの細やかな配慮を求め、市民に寄り添った施策を講じるよう求めました。

## PCR検査センターの開設を

### 岸本たてき議員

続いて質問に立った岸本市議は、安心して経済・社会活動を再開する上で、感染の早期発見の必要性を説き、市として希望する市民にPCR検査を実施できる施設の開設を求めました。

## 地域の声を市に届ける

### 立花俊治市議 平岡町後援会

6月12日、立花議員と平岡町後援会は市民から寄せられた要望を市の担当部署に申し

入れをおこないました。

### 市道25号線の街灯の設置

JR東加古川駅南東の生協近くの市道25号線は、街灯の設置が少なく暗いので、街灯の増設を求めました。「現地を見て、何処に設置すればいいか調べます」との回答でした。

### 里道のアスファルト舗装を

高畑の里道は、昨年、市の尽力と住民の協力で補修されまし



市の担当者に申し入れる右から後援会の山荘さん、瑞慶山さん、立花議員

**知っ得情報**  
コロナ対策 (加古川市)

◎個人市民税の減免 1~5割  
対象者：コロナで収入が50%減 (年収500万円以下)  
減 免：収入により 1~5割減免  
問合せ先 市民課 (個人市民税第1係)  
TEL 079-427-9163

◎保険料の特例給付制度  
対象者：コロナの影響で、一時に納付することが困難な方。  
分割して納付、担保は不要  
対象：国民健康保険料、介護保険料、保育所保育料  
申請手続き：令和2年7月31日まで  
問合せ先：税務部 債権管理課  
TEL 079-427-3618

## 沖縄県議選で勝利

オール沖縄が過半数維持 共産党は過去最高の7

7日に投開票された沖縄県議選で、玉城デニー知事を支えるオール沖縄が25議席を確保し、4年前に続いて過半数を制し、辺野古新基地反対の民意を示しました。

今回の県議選で、自民党と公明党は、初めて公約で新基地「容認」を掲げましたが県民のきびしい審判を受けました。  
日本共産党は、候補者全員が当選し現有から1増、史上初の7議席を獲得しました。

た。しかし、アスファルト舗装が実現していないので、早く実施するように要望しました。  
担当者から、できるだけ早く対応したいとの回答がありました。